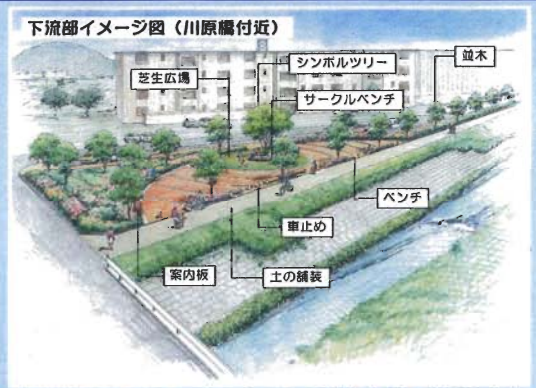
■境川緑地基本計画（案）

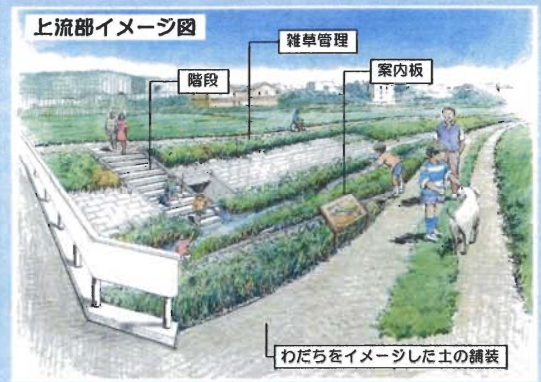
◆ 境川散策路（全体）
境川沿いに、水と緑に包まれた連続的な散策路をつくり、休憩スポットや広場などを設置して、川沿いを楽しく歩けるようにします。

下流部（川原端付近）



地域住民のコミュニケーションの場として、また遠方からのアクセスポイントとして、多目的に活用することができる広場を整備します。

上流部

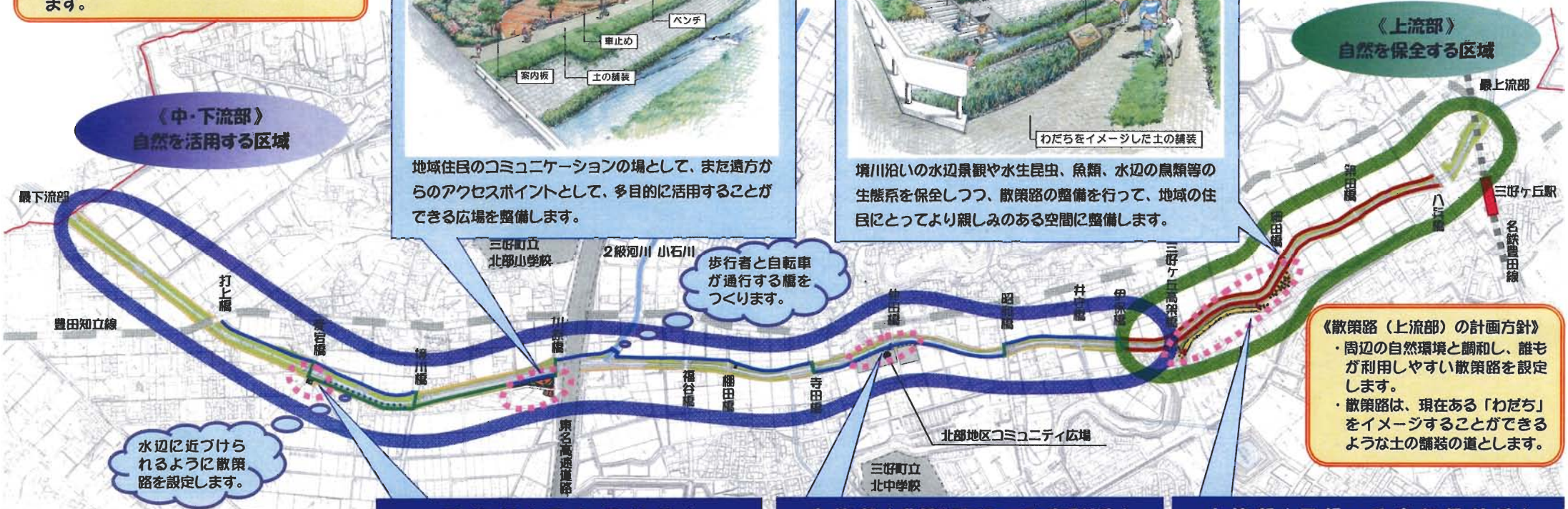


境川沿いの水辺景観や水生昆虫、魚類、水辺の鳥類等の生態系を保全しつつ、散策路の整備を行って、地域の住民にとってより親しみのある空間に整備します。

0　200M　400M

《中・下流部》
自然を活用する区域

《上流部》
自然を保全する区域

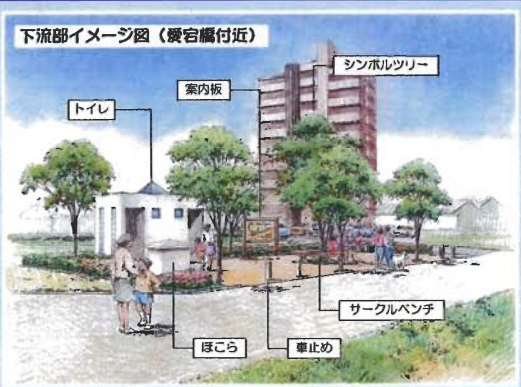


《散策路（上流部）の計画方針》
・周辺の自然環境と調和し、誰もが利用しやすい散策路を設定します。
・散策路は、現在ある「わだち」をイメージすることができるような土の舗装の道とします。

《散策路（中・下流部）の計画方針》
・周辺の土地利用および車の交通量に配慮した散策路を設定します。
・散策路は、歩きやすく自然環境に調和するような土の舗装とします。

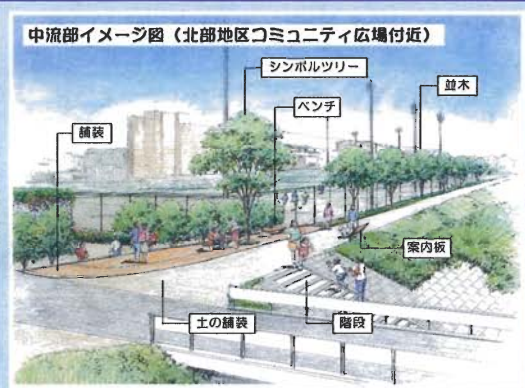
凡例	
散策路	わだちをイメージした土舗装の道
	歩行者と自転車を優先する土舗装の道
	歩行者と車が共存する道
	散策路沿いの休憩スポット

下流部（愛宕橋付近）



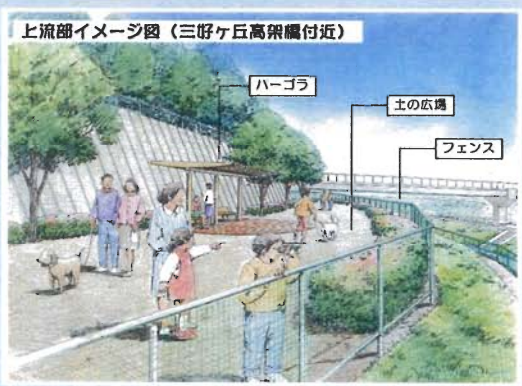
境川の散策を楽しむ人やイベントに参加した人など、誰もが気軽に利用できるように休憩スポットを整備します。

中流部（北部地区コミュニティ広場付近）



北部地区コミュニティ広場との一体的な整備により、親水性の高い拠点として整備します。また、川沿いに並木を植栽し自然環境の向上を図ります。

上流部（三好ヶ丘高架橋付近）



多目的に利用することができるように土の広場を整備します。また、境川に飛来する鳥を観察する観察ポイントとして整備します。